

## 貸借対照表

(令和6年 3月31日現在)

(単位:円)

資産の部				負債の部			
勘定科目	当年度末	前年度末	増減	勘定科目	当年度末	前年度末	増減
流動資産	124,123,153	130,761,353	△6,638,200	流動負債	28,479,660	20,110,924	8,368,736
現金預金	62,755,408	70,918,455	△8,163,047	事業未払金	16,795,430	8,861,178	7,934,252
事業未収金	61,367,745	59,842,898	1,524,847	1年以内返済予定リース債務	2,558,994	2,748,744	△189,750
固定資産	441,144,859	462,214,444	△21,069,585	職員預り金	987,272	1,061,779	△74,507
基本財産	260,503,260	271,164,466	△10,661,206	貸与引当金	8,137,964	7,439,223	698,741
土地	151,172,464	151,172,464		固定負債	3,558,656	5,874,968	△2,316,312
建物	109,330,796	119,992,002	△10,661,206	リース債務	3,558,656	5,874,968	△2,316,312
その他の固定資産	180,641,599	191,049,978	△10,408,379	負債の部合計	32,038,316	25,985,892	6,052,424
土地	5,528,082	5,528,082		純資産の部			
建物	129,345	148,045	△18,700	基本金	274,167,268	274,167,268	
構築物	3,191,673	3,437,185	△245,512	第一号基本金	274,167,268	274,167,268	
車輌運搬具	1,491,149	4,065,002	△2,573,853	国庫補助金等特別積立金	32,584,602	37,472,198	△4,887,596
器具及び備品	12,900,732	17,356,523	△4,455,791	国庫補助金等特別積立金	32,584,602	37,472,198	△4,887,596
有形リース資産	6,307,401	9,078,284	△2,770,883	その他の積立金	150,000,000	150,000,000	
ソフトウェア	1,093,217	1,436,857	△343,640	施設整備等積立金	150,000,000	150,000,000	
施設整備等積立資産	150,000,000	150,000,000		次期繰越活動増減差額	76,477,826	105,350,439	△28,872,613
資産の部合計	565,268,012	592,975,797	△27,707,785	(うち当期活動増減差額)	△28,872,613	△14,342,450	△14,530,163
				純資産の部合計	533,229,696	566,989,905	△33,760,209
				負債及び純資産の部合計	565,268,012	592,975,797	△27,707,785

## 資金収支計算書

(自 令和 5年 4月 1日 至 令和 6年 3月 31日)

(単位:円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
事業活動による収支	介護保険事業収入	382,702,000	366,699,712	16,002,288	
	経常経費寄附金収入	110,000	30,000	80,000	
	受取利息配当金収入	7,000	3,655	3,345	
	その他の収入	4,401,000	4,475,293	△74,293	
	事業活動収入計(1)	387,220,000	371,208,660	16,011,340	
	人件費支出	293,213,000	293,201,515	11,485	
	事業費支出	66,363,000	62,927,331	3,435,669	
	事務費支出	22,685,000	24,859,696	△2,174,696	
	事業活動支出計(2)	382,261,000	380,988,542	1,272,458	
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	4,959,000	△9,779,882	14,738,882	
施設整備等による収支	その他の施設整備等による収入	131,000	130,680	320	
	施設整備等収入計(4)	131,000	130,680	320	
	固定資産取得支出	2,721,000	2,342,681	378,319	
	ファイナンス・リース債務の返済支出	2,507,000	2,506,062	938	
	施設整備等支出計(5)	5,228,000	4,848,743	379,257	
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△5,097,000	△4,718,063	△378,937	
	その他の活動収入計(7)				
	その他の活動支出計(8)				
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)				
	予備費支出(10)				
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		△138,000	△14,497,945	14,359,945	
前期末支払資金残高(12)		120,838,396	120,838,396		
当期末支払資金残高(11)+(12)		120,700,396	106,340,451	14,359,945	

## 事業活動計算書

(自 令和 5年 4月 1日 至 令和 6年 3月 31日)

(単位:円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
サ ー ビ ス 活 動 増 減 の 部	収益	介護保険事業収益	366,699,712	359,655,324
	経常経費寄附金収益	30,000	70,000	△40,000
	サービス活動収益計(1)	366,729,712	359,725,324	7,004,388
費 用	人件費	293,900,256	272,909,981	20,990,275
	事業費	62,927,331	61,464,447	1,462,884
	事務費	24,859,696	23,835,502	1,024,194
	減価償却費	23,281,585	19,079,667	4,201,918
	国庫補助金等特別積立金取崩額	△4,887,596	△1,947,239	△2,940,357
	サービス活動費用計(2)	400,081,272	375,342,358	24,738,914
	サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	△33,351,560	△15,617,034	△17,734,526
サ ー ビ ス 活 動 外 増 減 の 部	収益	受取利息配当金収益	3,655	3,989
	その他のサービス活動外収益	4,475,293	1,388,355	3,086,938
	サービス活動外収益計(4)	4,478,948	1,392,344	3,086,604
費 用	サービス活動外費用計(5)			
	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	4,478,948	1,392,344	3,086,604
	経常増減差額(7)=(3)+(6)	△28,872,612	△14,224,690	△14,647,922
特 別 増 減 の 部	収益	施設整備等補助金収益		3,500,000
		特別収益計(8)		3,500,000
	費用	固定資産売却損・処分損	1	117,760
		国庫補助金等特別積立金積立額		3,500,000
		特別費用計(9)	1	3,617,760
		特別増減差額(10)=(8)-(9)	△1	△117,760
		当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	△28,872,613	△14,342,450
繰 越 活 動 増 減 差 額 の 部		前期繰越活動増減差額(12)	105,350,439	39,692,889
		当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	76,477,826	25,350,439
		基本金取崩額(14)		
		その他の積立金取崩額(15)		80,000,000
		その他の積立金積立額(16)		
		次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	76,477,826	105,350,439
				△28,872,613

# 事業実績統括

2023年度は社会福祉法人西寿会設立40周年を迎えた大きな節目の年となり、新しい事業も増えました。グループホームは共用型通所サービス(一日3名まで)を開始し、9月から昼食のみの配食サービス事業も始めました。全施設目標として「目を見て行動を見て、相手の思いを汲み取る『気づきの介護』と掲げ一人一人研鑽し利用者様の生きがいと安心・安全に務めた。

入所施設においては、個々のケアプランを日々の生活に取り入れ各委員会(感染対策・生活機能改善・喀痰吸引等安全・安全衛生・安全対策・自己評価接遇・イメージアップ戦略・拘束検討・ノーリフティングケア等)を通しての個々の把握や職員のスキルアップに務め、BCP(事業継続計画)では自然災害、インフルエンザ・コロナウイルス等感染症の研修を行い訓練・予防に対する認識を強くし日々意識することの大切さを感じることができた。

多くの行事が中止、縮小されました職員一同が「利用者様に笑顔を」と願い創意工夫を以て夏祭り・敬老会・年越し会を催し、敬老会はグループホームと合同で行い顕彰者、百寿1名・卒寿4名・米寿3名が正装で身を包み記念写真撮影・記念品贈呈・皆さんからお祝いのお言葉をいただきました。

給食面においては、管理栄養士による栄養マネジメント計画に沿って、栄養状態を把握し健康に過ごしていただくために嚥下困難食、食事摂取困難者の食形態の見直し、言語聴覚士や看護員のアドバイスを受け安全に食事提供ができました。低栄養者への高栄養ゼリー使用は3か月ごとの評価を行い対応。経験豊かな調理員が増え新しく昼食の配食サービス事業も開始「とても味がよく美味しい弁当だ」と好評をいただき利用者様も増えています。

災害時もスムーズに対応出来るようにメニューの変更や備品の準備等備えています。

医務面においては、医務を中心に感染予防対策に取り組み、健診や予防接種の実施、感染対策委員会と連携し感染予防に努め、健康管理、異常の早期発見による適切な対応を目標とし医師の指示を仰ぎご家族の意向を確認しながら対応し、介護員と共に寝たきりの方や経管栄養の方の離床を進め褥瘡予防とADLの向上に努めた。今年度はコロナウイルス感染で2度(9月～10月・3月)対応に苦慮し備品確保や処置に追われる日々が続きました。

短期入所生活介護においては、利用者延人数139名・延日数2,488日の実績となり、各居宅事業所からのケアプランに添って定期的利用、長期利用(越冬利用)、緊急時利用とご本人とご家族の心身負担の軽減と、ADLの維持を図り施設生活の行事や余暇活動の中で生きがいを感じていただけるよう生活リハビリを通し日常生活への意欲と自信につなげるよう努めた。

居宅介護支援事業所においては、居宅介護支援事業も4人体制となり町のブランチとして「介護支援相談センター」と名称変更し活動範囲を広げました。計画作成件数1,556件(内介護予防件数68件・総合事業利用者数573件)と限られたサービスの中で利用者様やご家族の意向に沿ったサービス提供を行い、コロナ禍定期的な家庭訪問の様子伺いが思うように出来ず電話による連絡事項が多くなった。担当地域拡大により独居生活・老人世帯の遠方家族との連絡調整が多く困難事例への対応は包括支援センター・サービス事業所との連携を図りました。

デイサービスセンターにおいては、利用者延人数 5,473 名（内総合事業利用者数 1,887 名）延日数 360 日、コロナ禍予防の対策を徹底したものの、12 月にコロナ感染症を発症し 6 日間の休業を余儀なくされ、360 日間の実施で自立支援を図り、生きがいと生活意欲を持たせ、心身の健康を保つ事を目標とし、生活相談・健康状態の確認・リハビリの強化・入浴・食事・余暇・畑作り・趣味活動等個々に合ったプログラムで過ごして頂き家庭での生活助長につなげている。毎月のデイサービス独自の広報誌も皆さんのが楽しみの一つとなり好評でした。

グループホームにおいては、今年度は 2 名の入れ替わりがありました、今年から共用型通所介護（一日 3 名）を開始し、グループホームの理解と少人数での生活体験で利用者様の毎日の生活の中での生きがいとなり、個々の出来ることの援助をしながら職員とのふれあいを楽んでいただき、ご家族の介護支援になることを望みます。2 ヶ月に 1 度の広報紙もホームの様子がよくわかるとご家族に喜ばれました。（運営推進委員会は 5 回実施）

リハジム「らしかる」においては 在宅生活の助長を促し介護予防・認知症予防・病院退院後のリハビリテーションを担う施設として利用者様の理解のもと多くの方に利用いただき、町の委託事業として介護予防教室を実施しました。

介護実習センターにおいては、越冬のための利用者様 2 名と、認知症状があり在宅での独居生活が不安なことから、声かけによる生活支援を要する方 2 名と、計 4 名の方が利用されました。

公益事業においては、深浦町・鰯ヶ沢町で言葉の教室「めばえ」を開催し ST による支援が行われた。

当法人も 40 周年を迎え、古い施設としてではなく新しい時代に則した施設として励んでいきます。今年度はコロナウイルス感染により特養ホーム 2 回（10 月～11 月・3 月）グループホーム 1 回（2 月）デイサービス 1 回（12 月）と不安の時を過ごすことになりましたが、備品不足や食事面で職員の敏速な対応により何とか乗り切ることが出来ました。今後もどのような困難にも立ち向かえるよう職員一同精進して行きたいと思います。

## 財產目錄

令和6年3月31日現在

社会福祉法人 西寿会

(单位: 例)